

週刊センターニュース No.34



第34号(2004年11月1日)毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

第67回角間ランチョンセミナー

日時: 11月5日(金) 12:10~12:40

場所: 角間キャンパス総合教育棟A1講義室

テーマ: 「編集・取材・企画をやってみたい人に - 金沢大学の情報誌を作ってみませんか - 」

担当: 山本 秀樹(金沢大学社会貢献室調査員)

このランチョンの趣旨は、http://www.ad.kanazawa-u.ac.jp/ad_chiiki/index.htm にありますように、金沢大学地域貢献情報誌「地域とともに」の新しい号の編集に加わる学生を募集するという、地域貢献室の企画を広く学生に伝えるためのものです。編集・取材・企画等に関心があり、マスコミ志望などの学生に、各教職員から積極的に知らせて欲しいと考えます。

共同学習会のご案内

第44回 日時: 11月4日(木) (16時20分~17時50分)

場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟2階 大会議室

発表者: 木下 弘子(学生部学生支援課就職指導係長)

中平 泰(文学部・法学部・経済学部学務第一係長)

青野 透(大学教育開発・支援センター長)

概要: 就職支援体制、学生による授業評価および学生の課外活動について

10月20日~22日の三日間、東京で「第42回全国学生指導研究集会」

(主催: 文部科学省・全国学生指導研究会連合会・日本学生支援機構・

一橋大学)が開催されました。全国から420名を超える国公私大学の短大教職員が参加しました。本学から参加した、木下(分科会 3: 就職指導「就職支援体制のあり方」)中平(分科会 - 1: 修学指導「学生による授業評価とそのフィードバック」)および青野(分科会 - 2: 学生の自主的活動および学生関係施設「学生の自主的活動と大学の支援」)の三名の教職員が、この研究集会において議論されたことを中心に報告します。

なお、共同学習会に参加できない場合でも、事前にご意見、ご質問などをお知らせいただき、議論に活用させていただきたいと思っております。ご連絡ください。

北海道大学における新しい授業改善の取り組み

前号33号のセンターニュースで、北海道大学での化学の授業を紹介した。デモンストレーション実験を講義に取り込み、講義の後、小グループに分かれて学生同士で議論する新しい授業形態である。現象や実験を起点とした議論型の授業は、自然科学の理想的な教育方法の一つと思われるが、様々な制約からその実施は難しく、北海道大学の取組は数少ない実施例の一つと思われる。

北海道大学では、化学など実験科学の授業だけでなく様々な専門分野での議論型授業が実施されつつある。「ラーニングシアター」と呼ばれる450席の大講堂での講義の後、ゼミ用小教室ごとにグループに分かれて学生同士での議論を行う「シアター・コンプレックス方式」で授業が進められる。そ

の一つが教養科目「科学・技術と人間の倫理」である。対象は全学部学生で、高等教育機能開発総合センター・高等教育開発研究部を中心に文学、理学、農学、薬学、工学の各大学院研究科がプロジェクトを組み、1年余の月日を費やし企画されたものである。クローン人間や旧石器発掘捏造、薬害エイズなど具体的な事例について講義を受けた後、「問題に至った判断や行為の原因、背景」「社会に及ぼした影響や解決策」などをグループで討論し、成果を再びシアターに持ち寄り、報告して全体で討論する。自然科学、社会科学によらず、議論型授業の開発が組織的に行われつつある。

当センターは、11月28日(日)に第1回専門分野別教育開発セミナーを開催する。プログラムなど詳細については、次号センターニュースに掲載予定である。講演者のお一人として、北海道大学高等教育機能開発総合センター・高等教育開発研究部部長の小笠原正明教授をお招きする。「大学の専門基礎教育をどうするか? - 物理と化学を中心に」というテーマで、国際的に先駆的な専門教育の例や北海道大学における最近の試みについて紹介していただく予定である。

なお、北海道大学の「シアター・コンプレックス方式」の授業の詳細については、以下のホームページを参照していただきたい。(http://mytown.asahi.com/hokkaido/news02.asp?c=28&kiji=4)
(文責 西山)

共同学習会への話題提供のお願い

大学教育開発・支援センターでは、昨年度末より教育改善や法人化後の大学環境の変化など、多様な視点から、教職員の間で自由に議論できる場を提供すべく共同学習会を企画してきました。今後も皆様のご意見やご希望を反映させながら企画を進めて参ります。例えば、授業作りやFD関連の話題なども共同学習会で重点的に取り上げていきたいと考えております。共同学習会への大学教育についてのさまざまな話題の提供をお願いいたします。

センター教員活動記録

- 2004.10.12,13 九州大学高等教育総合開発研究センターへカリキュラム、少人数ゼミ科目について聞き取り調査のため訪問 (西山 公費出張)
- 2004.10.15 日弁連法務研究財団主催の評価員研修会(大阪会場)に参加(青野)
- 2004.10.16 2004年度第2回高等教育政策研究セミナー「大学評価とこれからの大学改革の方向」(大学コンソーシアム京都主催、キャンパスプラザ京都)に参加(堀井 公費出張)
- 2004.10.20 平成16年度第2回ノートテイク・パソコンノートテイクに係る講習会(主催 金沢大学障害学生支援委員会、企画 金沢大学大学教育開発・支援センター、協力 社会福祉法人石川県聴覚障害者協会)に参加(堀井)
- 2004.10.20-22 「第42回全国学生指導研究集会」(主催:文部科学省、他)(会場:国立オリンピック記念青少年総合センター 東京都渋谷区)に参加(青野 公費出張) あわせて、研究集会終了後、独立行政法人メディア教育開発センター(幕張)のメディア活用研究開発系助教授の広瀬洋子研究室を訪問。
- 2004.10.30 応用物理学会主催第4回教育シンポジウム「崖っ淵の科学教育」に参加(会場:東京大学教養学部) (西山 公費出張)